

ひきこもり支援推進事業について

ひきこもり相談室（愛媛県心と体の健康センター）

国の「ひきこもり支援推進事業」を活用し、原則として18歳以上のひきこもり状態にある本人及び家族に対して、適切な相談等の支援を行うため、**1 相談支援事業、2 支援体制連携強化事業、3 普及啓発・研修事業**を実施。

また、心と体の健康センター業務として位置づけられている**人材育成（研修）、技術援助**についても併せて実施している。

1. ひきこもり支援推進事業開始からの取組み状況

令和5年12月31日現在

事業内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
相談支援事業	電話相談	→												
	来所相談	→												
	同行支援		（必要時）			（積極的）								
	家族教室	思春期事業として実施	家族の集い実施		公開講座					コロナ感染症により公開講座中止		公開講座		
			研修会と同時開催		外部講師									
	デイケア			1クール	2クール	1クール								
	事例検討会		月1回			月1回								
		（必要時）		定例事業化										
当事者会及び家族会支援	----- 定例会等への参加 ----- →													
市町、保健所、障害福祉サービス事業所及び医療機関等との連携	----- ネットワーク会議等への参加 ----- →													
支援体制連携強化事業	連絡協議会										年2回（うち1回は研修会と合同開催）		年1回	
普及啓発・研修事業	担当者会						保健所・センターの情報共有					保健所・市町・センターの情報共有		
	研修会	年2回	年3回	年2回								年1回		
	情報発信	ホームページ掲載 リーフレット作成												
技術援助	保健所支援等								保健所単位の研修会					
	市町・団体支援等												市町・団体単位の研修会	

2. 令和4年度実績状況

(1) 相談支援事業

① ひきこもりに関する個別相談

	来所実件数	来所延べ件数	電話延べ件数
ひきこもり相談室	67	296	211

② ひきこもり家族教室 5回

○参加家族 実人数(男11人 女26人 計37人) 延人数(男23人 女70人 計93人)

日 程	内 容	参加者数
令和4年6月9日	講話及び質疑応答【ハイブリッド形式で実施】 「ひきこもりについて」 講師 ひきこもり相談室 相談員、心と体の健康センター 精神科医師	家族 23人
令和4年10月13日	講話及び座談会 「障害の理解及び障害福祉サービス、制度について」 講師 松山市障がい者北部地域相談支援センター センター長	家族 19人
令和4年11月10日	講話及び座談会 「ひきこもり家族会紹介と子どもへの関りについて」 講師 KHJ 愛媛県こまどりの会 会長	家族 17人
令和4年12月1日	講話及び座談会 「本人とのコミュニケーション・リラクゼーション法」 講師 心と体の健康センター 心理士	家族 18人
令和5年2月9日	講話及び座談会 「教室のまとめと医師への質疑応答」	家族 16人

③ ひきこもりデイケア 14回

○参加当事者 実人数(男4人 女4人 計8人) 延人数(男15人 女16人 計31人)

日 程	内 容	参加者数
令和4年4月21日	オリエンテーション	2
令和4年5月19日	軽運動(ペタンク、卓球)	3
令和4年6月16日	軽運動(クップ)	3
令和4年6月30日	軽運動(ボール遊び)	2
令和4年7月21日	創作活動(ボトリウム、超ミニ水族館)	3
令和4年8月18日	創作活動(木工)	1
令和4年9月29日	軽運動(バドミントン)	2
令和4年10月20日	軽運動(ラダーゲッター)	2
令和4年11月17日	創作活動(クリスマスツリー装飾、モルック)	2
令和4年12月15日	軽運動(モルック)	3
令和5年1月19日	創作活動(フリースタイル書道)	3
令和5年2月16日	軽運動(モルック)	1
令和5年3月2日	軽運動(ペタンク、モルック、卓球)	1
令和5年3月16日	創作活動(お皿の絵付け)	3

④ 事例検討 (原則月1回程度開催)

実施回数	参加者数	参加機関・職種
9回	108 (延人数)	参加機関16機関： 心と体の健康センター、県保健所、市保健所、地域包括支援センター、 医療関係機関、相談支援関係機関、その他

(2) 支援体制連携強化事業

○愛媛県ひきこもり支援関係機関連絡協議会

構成機関：保健・福祉・就労・教育等ひきこもりに関連する機関 13 か所

開催日	対象者	内 容	参加者数
令和5年 2月6日 オンライン 開催	ひきこもり支援に関 わる関係機関・団体 (13機関)	(1) 国の動向と県の取り組み ・ひきこもり支援推進事業の概要及び県の取り組み ・ひきこもり相談室の支援状況 (2) 市町の相談窓口を活用した支援体制について (3) その他、支援に関すること	30

(3) 普及啓発・研修事業

○相談室リーフレットの配布、研修会等の機会をとらえて周知

○ひきこもりに関する研修会

開催日	対象者	内 容	参加者数
令和5年 2月17日 オンライン 開催	保健、医療、福 祉、教育、就労等 の職員等	講演 「事例を通して学ぶひきこもりの基礎知識」 講師 鳥取県立精神保健福祉センター 所長 原田 豊	146

○ひきこもり支援推進事業担当者会

開催日	対象者	内 容	参加者数
令和4年 5月30日 オンライン 開催	各保健所、市町 県庁担当者	情報提供①「ひきこもり対策の動向について」 情報提供②「ひきこもり相談室の活動状況について」 情報交換「保健所、市町の取り組み状況について」 その他 事例検討会の活用について	46

(4) ひきこもり支援推進に関する技術支援

開催日	支援先	内 容	参加者数	協力職員
令和4年 12月16日	宇和島 保健所	【宇和島保健所ひきこもり家族のつどい】 ・「本人とのコミュニケーション・リラクゼーション」	家族 4	心理士 保健師

3. 令和5年度 事業計画・進捗状況

(1) 相談支援事業

- 電話・来所相談
- 家族教室

5回（6月～2月）

- ひきこもりデイケア

(1) 室内活動：5回（7月～3月）

(2) 体育館活動：9回（4月～3月）

- 事例検討会 月1回程度実施中

(2) 支援体制連携強化事業

- ひきこもり支援関係機関連絡協議会

(3) 普及啓発・研修会開催

- 普及啓発活動

市町ひきこもり窓口のリンク先をホームページで掲示。

また、昨年度作成した、窓口案内用チラシ、普及啓発グッズを研修会や就職氷河期世代向けイベント等で当事者に配布して普及啓発を行っている。

- ひきこもりに関する研修会

令和6年2月9日（金）Zoomによるオンライン研修（予定）

- ひきこもり支援推進事業担当者会

令和5年5月19日（金）Zoomによるオンライン会議。

窓口設置にあたり市町の窓口担当課と保健所担当者を対象とした担当者会を実施。

- 技術援助

保健所、市町、団体からの依頼に対応。

令和5年12月31日現在

開催日	支援先	内 容	参加者数	協力職員
令和5年 7月14日	伊予市 社会福祉 協議会	【伊予市障害福祉サービス等事業者研修会】 ・講義「ひきこもりの基礎理解」	27	相談員 保健師
令和5年 8月29日	西条 保健所	【西条保健所ひきこもり支援従事者研修会】 ・講義「思春期のひきこもり支援について」 講師 心と体の健康センター 嘱託医師 ・家族の体験談「支援者へのメッセージ」 KHJ こまどりの会 会長	32	医 師 保健師
令和5年 9月6日	宇和島 保健所	【宇和島保健所ひきこもり家族のつどい】 ・講話「本人とのコミュニケーション」 ・演習「リラクゼーション法」	家族 5	心理士 保健師
令和5年 12月12日	松山市 介護 保険課	【松山市地域包括支援センター専門職（主任介護支援 専門員）部会】 ・講話「高齢者支援をきっかけに関わるひきこもり ～ファーストタッチで失敗しないために～」	24	相談員 保健師
令和6年 1月26日 (予定)	四国中央 市保健 センター	【四国中央市対人支援従事者等スキルアップ研修】(予定) ・講話「ひきこもり支援について ～事例に学ぶ支援のヒント～」 講師 ひきこもり相談室 相談員 KHJ 愛媛県こまどりの会 副会長	—	—

令和4年度ひきこもり相談室の相談者の状況

1 件数

- ・電話相談（延件数）は、年間 211 件、近年 約 150 件～200 件の間で推移
- ・来所相談（延件数）は、年間 296 件、コロナの行動制限により約 4 割減。コロナ前は約 450～550 件の間で推移。

2 相談経路・相談者の続柄

- ・相談につながったのは「インターネットから」が 52%と最多。ひきこもり相談室へは、インターネットを利用できる本人や比較的若い親からの相談が多い傾向。

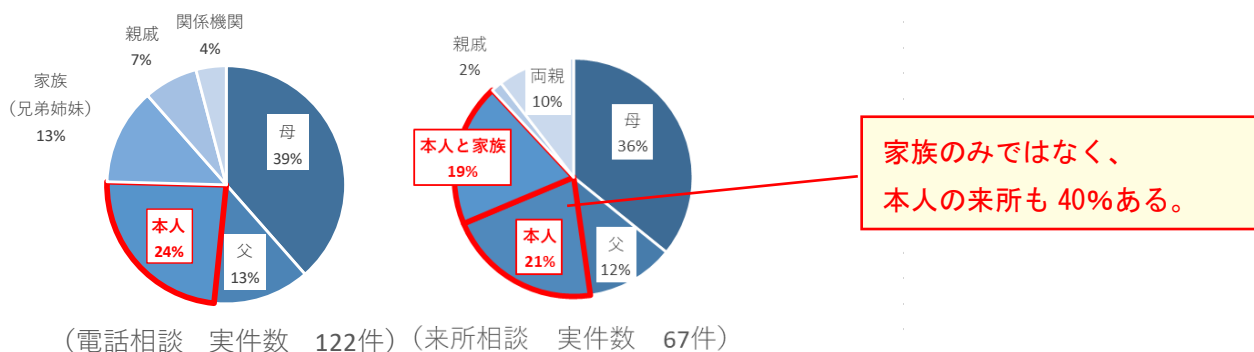


図1 相談者の続柄

3 本人の概要

（1）来所相談者（実人数）の内訳について

- ・本人の年齢 : 20 歳代～30 歳代が合わせて 76%。（図 2）
- ・ひきこもり期間 : 5 年未満が 35%、一方で 15 年以上も 30%ある。（図 3）
- ・ひきこもり開始年齢：「19 歳～22 歳」が 28%と最も多く、「23 歳～29 歳」が 24%、「30 歳以上」が 16%と続く。（図 4）
- ・不登校の経験（来所相談実件数 67 件）：「あり」が 46 %。（図 5）

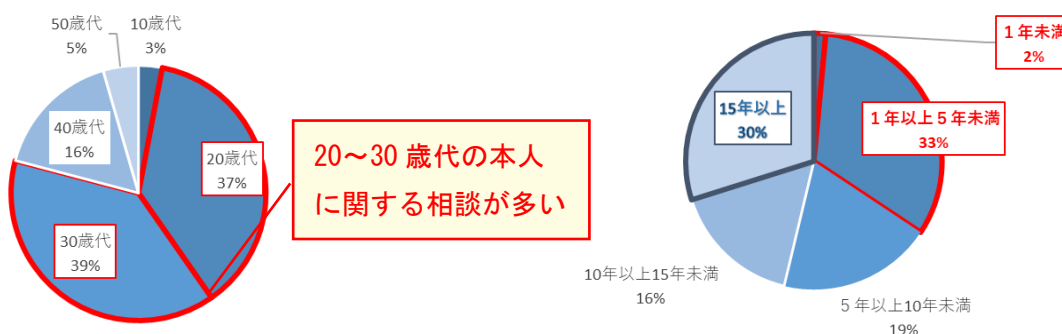


図2 本人の年齢（来所相談 実件数67件）

図3 ひきこもり期間（来所相談 実件数67件）

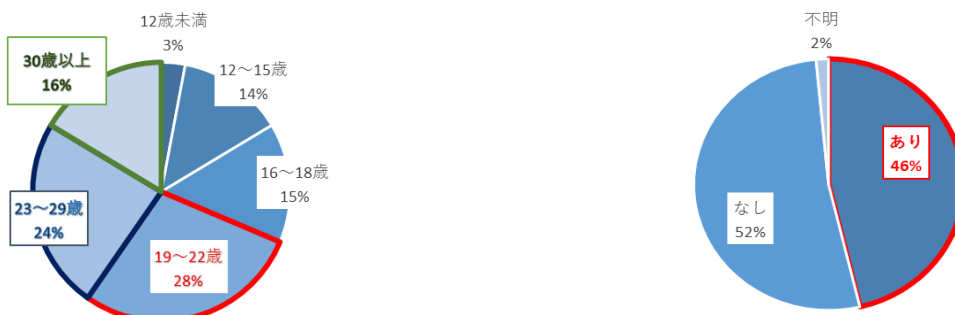


図4 ひきこもり開始年齢（来所相談 実件数67件）

図5 不登校の経験（来所相談 実件数67件）

(2) 来所相談者（新規来所者）の内訳について

- ・新規来所者年代別割合をみると、近年これまでなかった 8050 世代の相談が見られるようになってきているため、より身近な地域の機関との連携が求められる。(図 6)

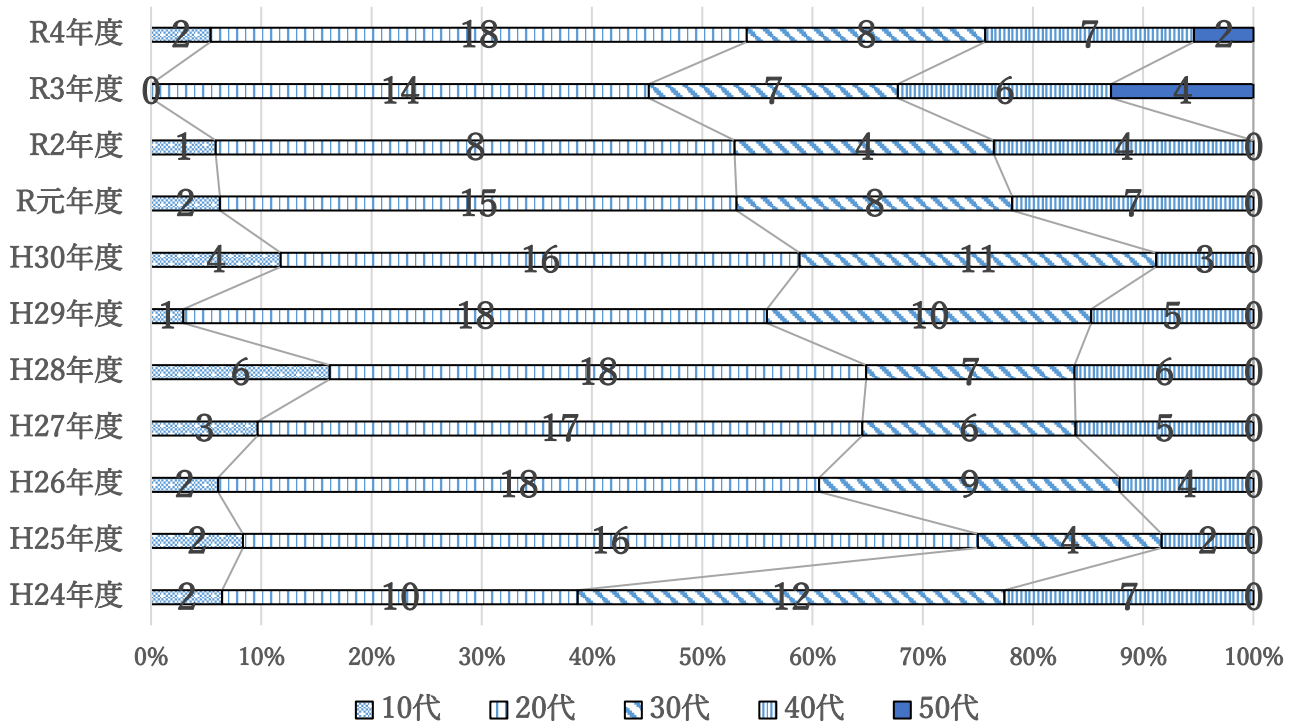


図 6 新規来所者年代別割合 (H24 年度～R4 年度)